

2018（平成30）年度

# 芝浦工業大学大学院

## 学生募集要項

### 理工学研究科（修士課程）

（電気電子情報工学専攻・材料工学専攻・応用化学専攻  
・機械工学専攻・建設工学専攻・システム理工学専攻）

### 第一次入学試験

芝浦工業大学大学院理工学研究科

## 【個人情報の取り扱いについて】

申請書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考ならびに進学の決定通知・入学手続きの連絡を行うために使用いたします。

なお、申請した方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出される学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

## 【個人情報の管理・保管について】

本学は、申請者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をし、申請者の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

## 【問い合わせ：書類送付先】

〒135-8548

東京都江東区豊洲 3-7-5 芝浦工業大学

大学院・MOT 事務課

TEL：03-5859-7420 FAX：03-5859-7421

E-mail：daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

# 目次

I：理工学研究科士課程の案内

II：第一次入学試験募集要項

III：出願資格の認定について（対象者のみ）

IV：教育研究分野および教員一覧

提出様式集

# 理工学研究科修士課程の案内

## 1. アドミッションポリシー

### 《修士課程》

大学院修士課程では、専門分野のプロ意識を備え持ち、社会の新しい側面に対応できる能力と、それを即戦力として活用し社会貢献できる能力を養うことにあります。そこで、つぎのような入学者を求めます。

- ・理工学研究科修士課程が掲げる理念と目的に共感するひと
- ・学士レベルの基礎および専門知識を有し、向上心および好奇心が旺盛で、何にでも挑戦しようという意欲のあるひと
- ・工学倫理を遵守できるひと

### 【電気電子情報工学専攻】

今日、電子情報系の技術を抜きにして、高度な工学システムの構築を行うことは不可能です。電気電子情報工学専攻では、産業基盤としての電気・電子・情報・通信関連技術に対する社会の要求に応え、グローバルな視点と幅広い価値観、高度な教養を身に付け、技術立国としての再生に貢献できる優れた技術者・研究者の育成を目的として、次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を実施します。

- ・高い工学的知的好奇心を持ち、本専攻分野の高度な専門知識習得と幅広い応用力を身に付け、社会に貢献したいという意欲のある人
- ・電気・電子・情報・通信関連技術に対する問題発見、解決能力を養成し、常にその向上を図ろうとする人
- ・日本語のみならず外国語も含めた高いプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身に付け、国内外での技術交流・技術貢献に積極的に取り組む希望と意思のある人
- ・高い技術者としての倫理観を育み、国内外の技術者、研究者と協調・協力して技術・研究開発の推進をめざす志の高い人
- ・日本での技術的知識・研究能力習得をめざす海外からの留学生
- ・企業などでの経験を経て、更なる創造力、問題解決能力養成のため、自己実現の場を求める人

### 【材料工学専攻】

材料は常に人間社会において重要な役割を果たしてきました。今後も、社会基盤技術として材料の重要性は増しています。さらに、最近の先端科学分野の発展とともに、材料工学分野は多様化しており、環境に負荷を与えずに、いかに材料を高機能化していくかということが大きな課題となっています。このような社会的背景から「材料」を科学する、あるいは優れた「材料」を追及することは、現代の科学技術発展において最も重要な基盤の一つであります。材料工学専攻では、入学者として次のような学生像を求めます。

- ・材料工学専攻の教育理念に共感し、自ら材料工学の背景となる自然科学および社会科学の基本的能力を向上させる意欲を有する人

- ・材料工学を構成する技術の基礎理論や応用展開に興味と関心を有し、探究心と好奇心をもって既成概念にとらわれない発想力を発揮できる人
- ・幅広い材料に接することを望み、従来の材料創製・材料開発および物性評価を理解し、より高度な材料工学研究を求める人
- ・人類と材料の関わりに興味を持ち、材料工学に関する従来技術および新たな知を伝える意識のもと、高いコミュニケーション力により伝搬・伝承を実践できる人
- ・地球規模の視野で社会貢献を考え、高度な材料工学を礎として技術や科学を積極的に社会に発信することを欲する人

#### 【応用化学専攻】

応用化学専攻は単に化学の専門知識のみならず、幅広い教養と問題発見、問題策定、問題解決の能力を合わせ持った科学者または技術者を養成し、国際社会に向けて付加価値の高い人材として輩出することを目指しています。

応用化学専攻は以下の素養を持った学生の入学を歓迎します。

1. 化学を基盤とする自然科学、工学一般に係る基礎知識と技術を習得した学生
2. 化学を基盤とする知識を応用し、主体的に問題発見能力と、問題解決能力を発揮できる学生
3. 社会における責任と倫理、他者との協調性を持って、化学を基盤とする業務に携わる能力を習得した学生

#### 【機械工学専攻】

機械工学専攻では次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を行います。

- ・理工学のような問題に対する知的好奇心を持ち、環境、安全、安心、利便性などの社会ニーズに応じて機械工学の専門性から貢献したいという意欲のある方
- ・機械工学専攻で学ぶことにより、様々なニーズのなかから機械工学としての問題設定ができる洞察力、それを解決するアプローチを企画できる論理的思考力、その計画に基づいて臨機応変に推進対応できるチャレンジ精神と実践能力を持つことを見込まれるポテンシャルがある方
- ・数学、物理などの基礎的な自然科学の知識、材料・構造力学、流体、熱・エネルギーなどの機械工学の専門知識と実践能力のある方
- ・国際的な学术交流できるための外国語の知識と実践能力を有するポテンシャルのある方
- ・技術者としての倫理観を持ち、周囲のメンバーと協調しながら研究を進める人間力を発揮するポテンシャルのある方

#### 【建設工学専攻】

建設工学専攻は国土から地域、都市、建築に至る、人間の生活環境の形成に携わる技術者養成のための教育・研究指導を行います。各学科での学部専門教育を基盤として、更に技術の対象となる社会への広い視野と専門諸分野への深い知識、技術、知見への意欲を併せもつ学生を求めます。

建設工学専攻が意図する院生の将来養成イメージとは、大きな括りでは、以下のような三分野に分けられ、更に細かい研究指導体制に分けられます。

- ・ 建築や都市関連の設計や計画などに従事する技術者、建築史関連の調査研究者あるいは古建築の修復、保全などの作業に従事する技術者
- ・ 建築や都市の構造、環境、生産関連の設計や計画、研究などに従事する技術者
- ・ 土木工学及び都市計画関連の設計や計画、研究などに従事する技術者

これらの分野に即して入試からカリキュラム、そして修士論文までのポリシーとシステムが構築されています。専攻に所属する四学科一コースの教員は、専攻では学部での括りを超えた横断的な部門、研究指導に分かれており、入学後の履修もこの括りに基づいて構成されています。

### 【システム理工学専攻】

分野横断型教育研究を特徴とするシステム理工学専攻は以下のような人物を求めます。

- ・ 身の回りにあるさまざまな「もの」や「こと」の仕組みや成り立ちに関心を持ち、それについて深く考え、問題点を解明することに興味を持っている人
- ・ 専門分野が異なる学生とチームを組んで課題に取り組むなど、システム理工学専攻における学問領域の枠を超えた演習科目に興味を持ち、主体的であり積極的に学習することに強い意欲を持っている人
- ・ システムを構成する要素のつながりを重視した付加価値のある「ものづくり」や「新たな枠組みづくり」に携わることを通じて社会に貢献しようという意志を持っている人

## 2. 学位について

本学大学院理工学研究科の修士課程に標準 2 年在学して正規の授業を受け、所定の単位数を取得し、さらに修士の学位論文または特定の課題について研究成果の審査および最終試験に合格した者には、修士課程を修了したものと認め、修士の学位を授与します。

## 3. 履修について

- ・ 学生の標準修業年限は、2 年。
- ・ 学生は、その在学期間中に所要の授業科目を履修し、専修科目を含む 30 単位以上を修得し、かつ指導教員の指導を受けなければなりません。
- ・ 学生は、授業科目の選択等研究一般について、指導教員の指導を受けるものとします。
- ・ 学生は、学年の始めまたは学期の始めに当該学年内に履修しようとする授業科目について、履修登録を行わなければなりません。
- ・ 指導教員が当該学年の研究上特に必要と認めた場合に限り、在学中他の専攻の授業科目について履修し、大学院所定の単位数に充当することができます。
- ・ 学生は入学の際、所属の専攻に設けられている指導教員の担当する授業科目の中より、自己の専攻すべき 1 授業科目を選定しなければなりません。これを専修科目といいます。
- ・ 修了までに必要な単位数は、各研究室に属する指導教員の担当する授業科目（専修科目含）18 単位、特別演習および特別実験の各単位合計 12 単位を含め、30 単位以上とします。
- ・ 標準修業年限で修了する場合、特別演習及び特別実験を除く授業科目について 1 年間に履修可能な単位の上限を原則として 20 単位とします。

## Ⅱ. 第一次入学試験 募集要項

【2018（平成30）年度 芝浦工業大学大学院理工学研究科（修士課程）】

### 1. 研究科専攻および募集定員

研究科名	専攻名	
理工学研究科	電気電子情報工学専攻	100名
	材料工学専攻	30名
	応用化学専攻	20名
	機械工学専攻	65名
	建設工学専攻	90名
	システム理工学専攻	50名
	国際理工学専攻	10名

※募集定員は各試験単位ではなく2018年度全体の定員です。

### 2. 出願（願書提出）の手順

- (1) 募集要項（提出書類の書式含む）をダウンロード
- (2) 自分が指導を受けたい教員（教育研究分野および教員一覧参照）と受験・研究内容等の相談をする。※
- (3) 卒業生・他大生は、卒業研究の指導教員、クラス担任、そのほか受験者本人を熟知し指導的立場にある教員に推薦書の作成を依頼する（厳封）。本学在学学生は不要。
- (4) 願書を作成する。  
注1）現住所欄は合格通知書等郵便物が届く住所を記入。本学学生は学校に登録してある住所を記入（転居や電話番号を変更している場合は至急学生課にて変更手続きをすること）。  
注2）指導を希望する教員（(2)で相談した教員）の承認印を必ずもらう。
- (5) その他必要書類をそろえる。
- (6) 本学受付窓口に出願期間中に提出または郵送。検定料の納付方法は「4. 出願手続き（詳細）」を参照

※指導を受けたい教員の連絡先が分からない場合は、下記の資料を添付して大学院・MOT事務課 <daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp>までメールをお送りいただければ、お取り次ぎをいたします。

1. 当該の研究室を志望する理由（メール本文への記載でも可）
2. 経歴書
3. 研究計画書

教員とのやりとりには時間を要する可能性があります。最初にご連絡いただいた時期によっては、願書の提出日までに受け入れの内諾を得られない場合がございますので、お早めにご連絡くださいますようお願いいたします。

### 3. 出願資格

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または 2018 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び 2018 年 3 月末までに学位取得見込の者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2018 年 3 月末までに修了見込みの者（注 1）
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者及び 2018 年 3 月末までに修了見込の者（注 1）
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者または 2018 年 3 月末までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定した者を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または 2018 年 3 月末までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）及び 2018 年 3 月末までにそれに該当する見込みの者
- (8) その他、理工学研究科委員会において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注 2）

（注 1） 出願資格（3）または（4）に該当する場合、出願資格を満たしているか確認したい方は、事前にご相談ください。出願資格を満たしていない場合であっても、出願資格審査申請日に必要書類を提出できれば、出願資格審査をご案内できます。

（注 2） 出願資格（8）の認定については、後掲「出願資格の認定について」を参照すること。



## 4.出願手続き

### (1)出願期間等

日時	場所
2017年7月11日（火） 12日（水） 10:00～16:00	豊洲キャンパス：教室棟2階廊下 ミーティング室3 大宮キャンパス：大学院・MOT事務課（2号館1階 大宮学生課内） 芝浦キャンパス：大学院・MOT事務課（1階 芝浦学事・学生課内）

※出願前に指導教員と研究内容について必ず相談すること。

### (2)提出書類

提出書類	対象者	備考
1 入学願書 (写真1枚)	全員	所定様式を使用。 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。
2 受験票 (写真1枚)	全員	所定様式を使用。(キリトリ線で切り離す) 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。
3 成績証明書	全員	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものが望ましいが、別々に提出することも可。複合されているものを提出する場合は、複合されているものを1部提出すればよい。
4 卒業(見込)証明書	日本の大学を卒業 (見込)の者	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものが望ましいが、別々に提出することも可。複合されているものを提出する場合は、複合されているものを1部提出すればよい。
	上記以外の者	外国の大学を卒業した者あるいは外国において学士の学位を取得した者は、そのことを証明する書類を提出すること。 ※出願資格を満たしているか確認したい方は、事前にご相談ください。出願資格を満たしていない場合であっても、出願資格審査申請日(6月22日(木))に必要な書類を提出できれば、出願資格審査をご案内できます。
5 受験科目事前選択シート	電気電子情報工学専攻出願者 応用化学専攻出願者	提出不要(受験科目は試験時に選択するため)
	上記以外の者	所定様式を使用。 志望専攻のシートに、選択する科目を記入すること。
6 入学検定料 (35,000円)【※1】	全員	各キャンパスの証明書自動発行機より支払い、支払い後に発行される「大学院入学検定料の申請書(青紙)」を提出すること。出願日は非常に混雑するため、必ず事前 前に支払うこと。 ※キャンパスへ来校できない場合は、郵便為替での支払いも可能。郵便為替(無記名:35,000円)を郵便局で購入し、出願書類と共に郵送のこと。【※2】
7 推薦書(厳封)	本学学部生以外の者	所定様式を使用。 出身大学の指導教員や、勤務先の上長等、出願者のことを熟知する者に作成を依頼すること。
8 奨学生出願書	奨学金申請希望者のみ	別紙奨学生募集要項を熟読の上、該当出願書類を提出すること。 ※受付期間終了後の提出は一切認めない ※本学学部生のみ申請可能。他大生・卒業生・研究生は出願不可。 ※入学辞退の可能性のある場合は申請不可
9 学位授与証明書 または 申請受理証明書	出願資格(2)により出願する 者	学士の学位授与証明書または、学位授与申請受理証明書を提出すること。未申請の場合は学士の学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したものを提出すること。なお、学位授与申請予定証明書で受験した者は、入学時まで学位授与証明書を提出すること
10 パスポート及び 在留カード	外国人志願者のみ	パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)と在留カードの写し(裏表)を提出。在留カードは外国人登録証明書で代替可。

#### ※1 【受験料について】

本学理工学研究科への受験が、当該年度入試において2回目以降の場合は、本学学生に限り受験料は15,000円となります。

#### ※2 【郵送で提出する場合の注意】

- ・封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」にて、出願日までに必着で送付すること。
- ・封筒には、出願書類一式に加え「返信用封筒」(住所・氏名を明記し、82円切手を添付)を必ず同封すること。  
(受付票および受験票を返送するため)

## 5. 入学者選考

入学者選考は、書類審査・筆記試験・面接試験によって行います。

## 6. 試験日および試験会場

(各専攻の日時及び会場は、後掲の【試験日および試験科目・試験会場について】を参照。)

【試験会場】 豊洲キャンパス(システム理工学専攻のみ大宮キャンパス)

【試験日】 8月29日(火) 全専攻 筆記試験

※注) 特別に指示がない限り電卓・辞書等の持ち込みは不可。

建設工学専攻 製図試験

8月30日(水) 全専攻 面接試験

## 7. 合格発表

9月6日(水)

13:00 各キャンパスの大学院掲示板に掲示します。

16:00 本学大学院のホームページへ掲載致します。

[http://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate-school/examination\\_result\\_announcement.html](http://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate-school/examination_result_announcement.html)

※掲示板・ホームページでは受験番号での通知となります。

※合格者の方へは、同日郵便にて合格通知書を送付致します。

※電話等による合否の問合せには応じられませんのでご了承ください。

## 8. 入学手続き

入学手続きの詳細については、進学者決定通知送付の際に通知します。

【参考：入学手続き書類の発送予定日】

9月上旬：合格通知送付(合格者のみ)

11月下旬：入学手続き金振込依頼書送付

1月下旬：写真台紙等送付

3月上旬：学生カード、誓約書等送付

## 9. 学費等

[2018年度学費等は未定につき、2017年度の例を参考に掲載]

費目	全専攻					
	一年次			二年次		
	入学時	春期	計	秋期	春期	計
入学金	(260,000)	—	(260,000)	—	—	—
授業料	510,500	510,500	1,021,000	560,500	560,500	1,121,000
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	602,500 (862,500)	602,500	1,205,000 (1,465,000)	652,500	652,500	1,305,000

※上記「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続き金としてお振り込みいただきます。

※本学卒業生の入学金は、免除されます。( )内は本学卒業生以外。

※本学卒業生以外の方であっても、血縁者2親等以内に本学卒業生がおられる場合、入学後に入学金を返還します。対象者は入学願書の所定欄に記入してください。

## 10. 後援会費

費目	一年次後期	二年次前期
入会金	(10,000)	—
会費	15,000	15,000
計	15,000 (25,000)	15,000

- ① 入学者のご父母等は、芝浦工業大学後援会の正会員として、学生の入学と同時に入会していただきます。
  - ② 入会金および会費（2年間分 30,000 円）の納入は、左の表の通りです。
  - ③ 本学卒業生で、学部入学時に正会員となっていた場合、入会金は免除されます。
- ※（ ）内は本学卒業生以外。

問い合わせ先：芝浦工業大学 後援会事務局（校友・後援会連携課内） 03-6722-2910

## 11. 入学辞退

一度納入された入学金及び授業料等は返還いたしません。

ただし、特段の事情が発生した場合、2018年3月末日までに入学辞退届を提出した者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します。本学指定の入学辞退届がありますので、該当する方は本学大学院・MOT事務課へご連絡ください。

また、入学した期に休学を検討している場合は、合格通知の受領後すぐに大学院・MOT事務課へ相談してください。

## 12. 注意事項

### 【出願時】

- (1) 出願期間を過ぎた場合、書類は一切受け付けない。願書および必要書類は余裕をもって準備すること。
- (2) 入学願書に誤って記載した場合は、2本線で訂正の上、訂正印を押印すること。修正液等の使用不可。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更・返還ならびに検定料の払いもどしは認めない。

### 【試験時】

- (1) 筆記試験当日、TOEIC®テストのスコアレポート（コピー）を必ず持参すること。  
提出できない場合、受験資格はないものとする。  
※公開テストと学内 TOEIC®-IP テスト、いずれのスコアでも可（他大学出身者は公式スコアのみ利用可）  
※ただし大学入学後に受験したもののスコアに限る
- (2) 筆記試験および面接試験には、必ず受験票を携帯すること。
- (3) 試験当日、気象状況等により交通機関等に支障をきたすような事態が生じても、受験することができるように注意すること。

## 13. 大学院で申請できる奨学金

### ①芝浦工業大学創立 80 周年記念・大学院修士課程給付奨学金（給付）

【給付金額】年間 200,000 円

【給付期間】2年間

【給付総額】2年間 400,000 円（学費と相殺）

【対象者】学内進学、一次入試合格者（いずれも本学学生に限る）

【申請時期】一次入試出願時【出願書(A)】

②芝浦工業大学大学院修士課程貸与奨学金（学費相当、貸与、無利子）

【貸与金額】年額 1,200,000 円

【貸与期間】2 年間

【貸与総額】2 年間 2,400,000 円（学費と相殺）

【対象者】学内進学、一次入試合格者（いずれも本学学生に限る）

【申請時期】一次入試出願時【出願書(B)】

【返還年数】10 年間

③芝浦工業大学奨学金（学内奨学金）（貸与、無利子）

【貸与金額】月額 74,000 円

【貸与期間】2 年間

【貸与総額】2 年間 1,776,000 円

【対象者】大学院生

【募集時期（予定）】2018 年 4 月（詳細が決定しましたら掲示等でお知らせいたします。）

④日本学生支援機構奨学金（第一種）（貸与、無利子）

【貸与金額】月額 50,000 円、88,000 円（予定）

【貸与期間】2 年間

【貸与総額】2 年間×選択した貸与金額（88,000 円の場合は、88,000×2 年間 2,112,000 円）

【対象者】大学院生

【募集時期（予定）】2018 年 4 月（詳細が決定しましたら掲示等でお知らせいたします。）

⑤日本学生支援機構奨学金（第二種）（貸与、有利子）

【貸与金額】月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円より選択（予定）

【貸与期間】2 年間

【貸与総額】2 年間×選択した貸与金額（50,000 円の場合は、50,000×2 年間 1,200,000 円）

【対象者】大学院生

【募集時期（予定）】2018 年 4 月（詳細が決定しましたら掲示等でお知らせいたします。）

⑦グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金（給付）

【給付金額】年額 300,000 円

【給付期間】2 年間

【給付総額】2 年間 600,000 円

【対象者】申請書提出時、または入学試験時に TOEIC のスコアを 550 点以上有する者  
および 2018 年 3 月 31 日までに TOEIC のスコアを 550 点以上有する者

【申請時期】一次入試筆記試験時 【出願書(C)】

# 電気電子情報工学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)			8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	基礎科目	面接
時間		10:00~12:00 (2時間)	13:00~14:00 (1時間)	8月29日(火)に通知
実施内容	TOEIC®テストのスコアを提出 ※詳細は下記参照	①電気磁気学 ②電気電子回路学 ③計測制御工学 ④電子物性学 ⑤通信工学 ⑥離散数学 ⑦データ構造とアルゴリズム  の中から2科目を選択する。 (試験時に選択解答)	数学 (線形代数、微分積分)	8月29日(火)に別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。

※TOEIC®テストの公式認定証(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)の写し、またはTOEIC®-IPテストのスコアレポート(TOEIC®-IP Score Report)の写しを筆記試験開始前に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IPテストは芝浦工業大学にて実施したものに限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効とする。

※また公式テストは大学入学後受験したテストのスコアを有効とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

※専門科目については、後掲の「出題範囲・キーワード」も参照すること。

## (2) 試験場

豊洲キャンパス 教室棟4階 403教室

※変更となる場合は試験当日の案内掲示にてご案内します。

# 材料工学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)		8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	面接
時間		10:00~11:30 (1時間30分)	8月29日(火)に通知
実施内容	TOEIC®テストのスコアを提出 ※詳細は下記参照	①表面機能材料 ②資源・エネルギー材料科学 ③先端材料 ④材料物理 ⑤半導体材料 ⑥材料科学 ⑦極限材料科学 ⑧ランダム系材料 ⑨生体材料 ⑩高機能材料 ⑪薄膜材料 ⑫材料化学 ⑬材料設計工学 の13科目の中からの1科目を事前選択する。	8月29日(火)に別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。

※TOEIC®テストの公式認定証(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)の写し、またはTOEIC®-IPテストのスコアレポート(TOEIC®-IP Score Report)の写しを筆記試験開始前に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IPテストは芝浦工業大学にて実施したものに限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効とする。

※また公式テストは大学入学後受験したテストのスコアを有効とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

## (2) 試験場

豊洲キャンパス 教室棟4階 404教室

※変更となる場合は試験当日の案内掲示にてご案内します。

# 応用化学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)		8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	面接
時間		10:00~12:00 (2時間)	8月29日(火)に通知
実施内容	TOEIC®テストのスコアを提出 ※詳細は下記参照	①有機化学 ②無機化学 ③物理化学 ④生物化学 ⑤分析化学 ⑥化学工学  それぞれの各2問、合計12問の中から4問を選択する。 (試験時に選択)	8月29日(火)に別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。

※TOEIC®テストの公式認定証(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)の写し、またはTOEIC®-IPテストのスコアレポート(TOEIC®-IP Score Report)の写しを筆記試験開始前に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IPテストは芝浦工業大学にて実施したものに限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効とする。

※また公式テストは大学入学後受験したテストのスコアを有効とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

※「専門科目」では、電卓使用可。

## (2) 試験場

豊洲キャンパス 教室棟4階 405教室

※変更となる場合は試験当日の案内掲示にてご案内します。

# 機械工学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)		8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	面接
時間		10:00~13:00 (3時間)	8月29日(火)に通知
実施内容	TOEIC®テストのスコアを提出 ※詳細は下記参照	①機械力学 ②材料力学 ③熱力学 ④流体力学 ⑤生産・加工工学 ⑥制御工学 ⑦数理計画 ⑧プロダクトデザイン ⑨製品計画  の9科目の中から2科目を事前選択する。	8月30日(火)に別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。

※TOEIC®テストの公式認定証 (OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) の写し、またはTOEIC®-IPテストのスコアレポート (TOEIC®-IP Score Report) の写しを筆記試験開始前に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IPテストは 芝浦工業大学にて実施したもの に限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効 とする。

※また公式テストは 大学入学後受験したテストのスコアを有効 とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

## (2) 試験場

豊洲キャンパス 教室棟4階 406教室

※変更となる場合は試験当日の案内掲示にてご案内します。



# 建設工学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)			8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	設計製図	面接
時間 実施内容	TOEIC®テストの スコアを提出 ※詳細は下記参照	・4科目選択者 10:00～13:00 (3時間) ・設計製図選択者 10:00～11:30 (1時間30分) (2科目)	13:00～17:00 (4時間)	8月29日(火)に 別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。設計製図受験者は試験開始30分前に入室すること。  
 ※TOEIC®テストの公式認定証(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)の写し、またはTOEIC®-IPテストのスコアレポート(TOEIC®-IP Score Report)の写しを筆記試験開始前に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IPテストは芝浦工業大学にて実施したものに限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効とする。

※また公式テストは大学入学後受験したテストのスコアを有効とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

※建設工学専攻の受験者で建築設計研究、建築設計情報研究、建築計画情報研究、空間デザイン研究の研究指導を受験するものは、原則として面接試験の際、学部における課題作品または卒業制作を1点以上持参する。

<受験専門科目一覧> (研究指導は、教育研究分野および教員一覧の研究指導に対応)

受験専門科目の選択について	専門科目	主たる内容	研究指導名	
<b>【1】建築設計研究、建築設計情報研究、建築計画情報研究、空間デザイン研究</b> …設計製図(手書きまたはCAD)および右の科目から2科目を選択解答すること。ただし、うち1科目は各研究指導に対応した専門科目を選択すること。	① 建築計画	建築計画、住環境計画	建築計画研究 住環境計画研究	
	② 建築設計	建築設計	建築設計研究 建築設計情報研究 建築計画情報研究 空間デザイン研究	
	③ 建築・都市史	建築史、都市史	建築史研究	
	④ 建築・地域設備	建築設備、地域設備	建築・地域システム研究	
	⑤ 建築環境	建築環境工学	建築環境工学研究	
	⑥ 建築構造	建築構造	建築構造研究	
	⑦ 建築地震防災	建築地震防災	建築地震防災研究、 建築地盤振動工学研究	
	<b>【2】建築計画研究、住環境計画研究、建築史研究、都市デザイン研究</b> …設計製図(手書きまたはCAD)および右の科目から2科目を選択解答、または右の科目から4科目を選択解答すること。ただし、うち1科目は各研究指導に対応した専門科目を選択すること。	⑧ 建築構造計画	建築構造計画	建築構造計画研究
		⑨ 材料施工	材料施工	材料施工研究
		⑩ 生産システム	生産システム	生産システム研究
		⑪ 土木構造	土木構造	土木構造研究
		⑫ 土木コンクリート工学	土木コンクリート工学	建設複合材料研究 コンクリート構造研究
		⑬ 地盤工学	地盤工学	地盤基礎工学研究
		⑭ 水工学	水工学	水工学研究
		⑮ 都市環境工学	都市環境工学	都市環境工学研究
		⑯ 空間情報工学	地理空間情報	空間情報工学研究
		⑰ 環境基盤計画	環境計画、環境評価	環境基盤研究
	<b>【3】上記以外の研究指導</b> …右の科目より4科目を選択解答すること。ただし、うち1科目は各研究指導に対応した専門科目を選択すること。	⑱ 土木計画	土木計画、交通計画、 都市整備、プロジェクト評価	土木計画研究
		⑲ 都市計画	都市計画、土地利用計画、 地域計画	都市計画研究
		⑳ 都市設計	環境設計、空間デザイン	都市デザイン研究
		㉑ 地域政策	地域政策、地域情報政策、 地域安全システム	地域情報研究 地域安全研究

注1) 希望する研究指導の専門科目は必ず受験すること。

注2) 設計製図については、後掲の「設計製図およびCAD設計製図の課題等(テーマ)」を参照すること。

## (2) 試験場

筆記試験

設計製図(手書き)

設計製図(CAD)

豊洲キャンパス 教室棟4階407教室または408教室

豊洲キャンパス ARCHITECTURE PLAZA

豊洲キャンパス 教室棟6階 PC実習室5-6

※変更となる場合は試験当日の案内掲示にてご案内します。

# システム理工学専攻

## (1) 日時・科目

月日	8月29日(火)		8月30日(水)
科目	外国語	専門科目	面接
時間		10:00~13:00 (3時間)	8月29日(火)に通知
実施内容	TOEIC®テストのスコアを提出 ※詳細は下記参照	①システム工学 ②制御工学 ③機械力学 ④流れ学 ⑤材料力学 ⑥電気回路 ⑦データ構造とアルゴリズム ⑧環境システム ⑨意志決定理論 ⑩社会調査法 ⑪生命科学Ⅰ (生体高分子・環境科学分野) ⑫生命科学Ⅱ (生理学・生化学分野) ⑬生命科学Ⅲ (免疫内分泌学・食品栄養学分野) ⑭有機化学 ⑮生体力学 ⑯福祉工学 ⑰基礎数学 ⑱数学専門Ⅰ ⑲数学専門Ⅱ  の19科目の中から2科目を事前選択する。	8月29日(火)に別途指示

※上記試験開始時間の20分前には試験会場に入室していること。

※TOEIC®テストの公式認定証 (OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) の 写し、または TOEIC®-IP テストのスコアレポート (TOEIC®-IP Score Report) の 写し を 筆記試験開始前 に提出すること。

※ただし、TOEIC®-IP テストは 芝浦工業大学にて実施したもの に限り、他大学出身者は公式テストのスコアのみ有効 とする。

※また公式テストは 大学入学後 受験したテストのスコアを有効とする。

※提出できなかった場合、受験資格はないものとする。

※専門科目については、後掲の「出題範囲・キーワード」も参照すること。

## (2) 試験場

大宮キャンパス 5号館 5251 教室

# 芝浦工業大学大学院 電気電子情報工学専攻

## 2018 年度入学試験 出題範囲・キーワード

### 数学

出題キーワード：

#### 微分積分

初等関数、数列と関数の極限、関数の連続性、中間値の定理、最大値・最小値、1変数関数および2変数関数の微分（高階微分、偏微分を含む）・積分（重積分、変数変換を含む）、平均値の定理、テイラー展開、極値問題

#### 線形代数

連立一次方程式、行列式、逆行列、線形写像と行列、一次独立性、基底と次元、基底変換、ベクトル、内積、複素行列、外積、直交行列とユニタリ行列、対称行列とエルミート行列、対角化、固有値と固有ベクトル

### 電気磁気学

出題キーワード：

クーロンの法則、電界、電位、ガウスの法則、導体、静電誘導、荷電粒子、電流と抵抗、コンデンサー、磁界、電流と磁界、ビオ・サバールの法則、アンペアの法則、電磁誘導(ファラデー)の法則、電界・磁界のエネルギー密度、ローレンツカ、インダクタンス、ソレノイド、マクスウェルの方程式、変位電流、電磁波、ポインティングベクトル

### 電気電子回路学

電気電子回路学の以下のキーワードに関わる内容から6問出題し、2問選択して解答する。

出題キーワード（出題問題数）：

#### 電気回路（3問出題）

オームの法則、直列と並列、分圧と分流、キルヒホッフの法則、電圧源、電流源、テブナンの定理、重ね合わせの理、 $\Delta$ -Y変換、閉路方程式、節点方程式、ブリッジ回路、交流波形と複素表示、複素ベクトル表示、RLC回路、インピーダンスとアドミタンス、複素電力、共振回路、二端子対回路

#### 電子回路（3問出題）

ダイオード回路、トランジスタの静特性、バイポーラトランジスタの接地方式、バイアス回路、直流負荷線、交流負荷線、増幅回路、直流等価回路、交流等価回路、デシベル表示、電界効果トランジスタ(FET)の接地方式、FETのバイアス回路、FETの等価回路、負帰還回路、入力インピーダンス、出力インピーダンス、電力増幅回路、ダーリントン接続、差動増幅回路、演算増幅回路、演算増幅回路の周波数特性

## 計測制御工学

計測制御工学は以下の範囲で出題する。

### 制御工学

- ・システムのモデリング：伝達関数、状態方程式・出力方程式、ブロック線図、
- ・システムの性質：極と零点、安定性、周波数特性、
- ・応答計算；インパルス応答、インディシャル応答(ステップ応答)、周波数応答
- ・制御系設計：フィードバック系設計、PID制御、状態フィードバック制御、

### 計測工学

- ・センサの種類と計測原理、DA変換回路、AD変換回路、

### システム化

- ・概念設計、実システムの提案、ロボットシステム、メカトロニクスシステム、センシングシステム

## 電子物性学

出題キーワード：

量子数、有効質量、音子、光子、電界放出、光電効果、熱電子放出、仕事関数、リチャードソンの式、抵抗率、導電率、ドリフト速度、移動度、縮退、パウリの排他原理、基底状態、励起状態、マックスウェル-ボルツマン統計、量子統計、フェルミエネルギー、状態密度関数、コンプトン効果、ブラッグ回折、格子定数、固体の帯理論、バンドギャップ、有効質量

## 通信工学

出題キーワード：

アナログ通信、デジタル通信、光および電波工学、デジタル信号処理、時系列モデル、通信網工学、トラヒック理論、インターネット技術

## 離散数学

出題範囲は以下の3つとする。

1. 集合・写像・2項関係
2. グラフ
3. 命題論理と述語論理

また、出題範囲ごとのキーワードは以下のとおりとする。

### 1. 集合・写像・2項関係

部分集合、和集合、共通部分、差集合、補集合、べき集合、直積、写像（関数）の定義、像、逆像、単射、全射、全単射、合成関数、逆関数、2項関係、同値関係、商集合、半順序、全順序、最大元、最小元、極大元、極小元

### 2. グラフ

有向グラフ、無向グラフ、同型、次数（degree）、部分グラフ、誘導部分グラフ、道（通路）、閉路、単純道、基本道、距離、直径、連結グラフ、連結成分、木（tree）、根付き木、木の高さ、 $n$ 分木、強連結グラフ

### 3. 命題論理と述語論理

論理式、真理値表、否定、論理和、論理積、含意、同値、排中律、ド・モルガンの法則、双対原理、トートロジー、逆、裏、対偶、必要条件、十分条件、三段論法、全称限量子、存在限量子、述語論理式の解釈、恒真式

## データ構造とアルゴリズム

出題キーワード：

アルゴリズムと計算量、 $O$ 記法、配列、リスト、スタック、待ち行列、FIFO、LIFO、リングバッファ、グラフ、木構造、2分木、再帰的データ構造、再帰的アルゴリズム、逆ポーランド記法、木の走査、線形探索、2分探索、辞書式順序、2分探索木、平衡木、ハッシュ法、チェイン法、線形走査法、バブルソート、クイックソート、ヒープ、ヒープソート、幅優先探索、深さ優先探索、最短経路問題、ネットワークフロー、ラビン・カーブ法、クヌース・モリス・プラッツ法、ボイヤー・ムーア法、ユークリッド互除法、分割統治法、動的計画法、グリーディー法、分岐限定法、線形計画法

以上

# 芝浦工業大学大学院 建設工学専攻

## 2018 年度入学試験（一次） 設計製図のテーマと注意事項

設計製図および CAD 設計製図の課題等について、下記のとおり実施します。

記

### テーマ：「住宅街にたつ小さな彫刻美術館」

#### 【設計製図】

- 提出用紙： A2 版ケント紙とエスキース用紙（トレーシングペーパー）
- 製図用具： A2 版 平行定規製図台
- \*持参するもの：三角定規、スケール、鉛筆、色鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、コンパス、小型電卓、製図用テープ、製図用ブラシ
- \*使用してよいもの：サインペン、マーカー、修正液、修正テープ、字消板、テンプレート
- \*フリーハンドの製図および図面への彩色も可とする。

#### 【CAD 設計製図】

- 提出用紙： プリンターにて出力したもの（最大 A3 版）を、レイアウトし貼りこんだ A2 版ケント紙。
- 使用機器： ①OS : Windows 7 Enterprise
- ②ソフト : AutoCAD 2017  
Autodesk AutoCAD Revit 2017  
MicroStation V8i  
Bentley Architecture V8i  
ArchiCAD 20  
JW-CAD for Windows Ver. 7.11
- ③プリンター：Kyocera TASKalfa 5052ci  
(直接出力で A3 モノクロ印刷ができる。)
- \*持参するもの：三角定規、スケール、鉛筆、色鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、コンパス、小型電卓、製図用テープ、製図用ブラシ、はさみ、カッター、ペーパーセメント
- \*使用してよいもの：サインペン、マーカー、修正液、修正テープ、字消板、テンプレート
- \*CAD 図面に手書きにて加筆すること、および彩色することも可とする。
- \*CAD 受験生全員に、カッター台（A2 版）2 枚、スチール定規 50 cm 2 本を貸与する。

以上

# 芝浦工業大学大学院 システム理工学専攻 2018年度入学試験 出題範囲・キーワード

## ○システム工学

スケジューリング (プレシデンス・ダイアグラム, アロー・ダイアグラム, ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー (WBS), クリティカル・パス法, 見積もり法), 簡単な待ち行列 (ポアソン到着, 指数サービス), 線形計画法 (基底解, 図式解法, シンプレックスタブロー, 双対問題), 評価意思決定法 (一対比較法, 階層化意思決定法 AHP), 構造化技法 (ISM)

## ○制御工学

モデリング, 周波数応答, ボード/ナイキスト線図, 安定判別, PID 制御, 状態空間表現, 可制御性/可観測性, 状態フィードバック, 極配置, オブザーバ, 最適レギュレータ

## ○機械力学

ニュートンの運動方程式, ラグランジェの運動方程式, 質点の運動, 剛体の運動, 併進運動, 回転運動, リンク系, 質量, 慣性モーメント, 摩擦係数, 振動系, バネ, 復元力, 減衰機 (ダンパー), 減衰力, 固有振動数, 自由振動, 強制振動, 振子の運動, 仕事, 運動エネルギー, ポテンシャルエネルギー, 位置エネルギー, 力積

## ○材料力学

垂直応力, ひずみ, 引張, 圧縮, 熱応力, せん断, 丸棒のねじり, はりの曲げ応力, はりのたわみ, 座屈, 組合せ応力

## ○流れ学

理想流体, 実存流体, 圧縮性流体, 非圧縮性流体, 密度, 比重, 体積弾性係数, 表面張力, 粘性, 圧力, ゲージ圧, 絶対圧, マノメータ, 流量, 浮力, 浮体の安定性, 流線, 流管, 一次元流れ, 連続の式, ベルヌーイの定理, 運動量理論, 管内の流れと損失, 抗力, 揚力, レイノルズ数, 層流, 乱流

## ○電気回路

複素交流, 振幅, 位相, 交流電力, 電圧源, 電流源, オームの法則, キルヒホッフの法則, テブナンの定理, 重ね合わせの理, インピーダンス・アドミタンス, リアクタンス・サセプタンス, 共振, 閉路方程式, 節点方程式, 2ポートパラメータ

## ○データ構造とアルゴリズム

アルゴリズムと計算量, O 記法, 配列, リスト, スタック, 待ち行列, FIFO, LIFO, リングバッファ, グラフ, 木構造, 2分木, 再帰的データ構造, 再帰的アルゴリズム, 木の走査, 逆ポーランド記法, 線形探索, 番兵, 2分探索, 辞書式順序, 2分探索木, 平衡木, ハッシュ法, バブルソート, クイックソート, ヒープソート

## ○環境システム

都市環境, エネルギー資源循環, 都市インフラストラクチャー

## ○意思決定理論

効用関数, リスク回避的選好, ベイズ推定, マクスミニ戦略, 最適化, ディシジョン・ツリー, 後ろ向き帰納法, 割引因子, パレート効率, ナッシュ均衡, 囚人のジレンマ, チキンゲーム, 調整ゲーム, 社会的ジレンマ, ゲームの木, 情報集合, 部分ゲーム完全均衡, 繰り返しゲーム, ベイジアンゲーム, 投票のパラドクス, アローの不可能性定理, リベラルパラドクス, ボルダ方式

## ○社会調査法

質問紙調査, 質問紙作成法, 質的調査法, 標本抽出法, 仮説と検証, 因果と相関, 統計的検定, 記述

統計学，クロス集計，分散分析，平均の差の検定，順位和検定，相関係数，重回帰分析，因子分析，主成分分析，クラスター分析

○生命科学 I (生体高分子・環境科学分野)

遺伝子，DNA，RNA，タンパク質，アミノ酸，クローニング，発現，構造，微生物，生物生産，バイオレメディエーション，水質汚濁，大気汚染，環境分析，機器分析，廃水処理，海洋科学，窒素循環，硫黄循環，炭素循環

○生命科学 II (生理学・生化学分野)

血液，細胞の興奮発生と伝導，骨格筋，シナプス伝達，細胞内シグナル伝達，細胞骨格，細胞応答，細胞死 (アポトーシス)，代謝，糖質，脂質，タンパク質，核酸，酵素，ビタミン

○生命科学 III (食品栄養学分野)

糖質，脂質，タンパク質，血糖値，メタボリックシンドローム，摂食，特定保健用食品，ホメオスタシス，フィードバック調節，ホルモン，視床下部と脳下垂体と標的器官

○有機化学

混成軌道，立体化学，アルケン，アルキン，カルボニル化合物，芳香族化合物，求核置換反応，脱離反応，求核付加反応

○生体力学

バイオメカニクス，運動学，運動力学，姿勢，歩行，倒立振子，重心 (質量中心)，圧力中心，リンクセグメントモデル，空間座標系，モーメント (トルク)，慣性モーメント，運動制御，筋骨格系，中枢神経系，反射系

○福祉工学

福祉機器，ユニバーサルデザイン，アクセシビリティ，リハビリテーション，移動，移乗，姿勢，機械力学，筋力，障害者，高齢者

○数学基礎

微積分 (1変数の微積分，多変数の微積分，数列，級数)，線形代数 (ベクトル，行列，線形空間，固有値)

○数学専門 I

代数 (整数，群，環，体)，幾何 (曲線，曲面，多様体)，解析 ( $\epsilon$ - $\delta$ ・ $\epsilon$ - $N$  論法，常微分方程式，留数定理)，(計 6 題 (各 2 題) から 2 題選択)

○数学専門 II

数値解析 (非線形方程式，連立一次方程式，常微分方程式)，応用解析 (力学系，偏微分方程式，関数解析)，確率統計 (確率分布，推定，検定)，離散数学 (グラフ理論，組合せ論，有限オートマトン)，制御理論 (伝達関数，安定性・安定化，最適制御) (計 5 題 (各 1 題) から 2 題選択)

(以上)



# Ⅲ. 出願資格の認定について

本学大学院では、科学技術の進展や社会経済の変化に対応し、研究者および高度専門職業人の養成を果たすため、大学を卒業していない者であっても研究能力を有する者については個々人の能力に着目して本大学院への道を開いています。

## 1. 出願資格審査が必要な場合

出願資格（8）の資格によって出願する場合

## 2. 出願資格審査の申請方法

(1) 提出書類 ※下記7点以外に本学が必要とする書類が別にある場合個別にご連絡いたします。

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	所定様式（次ページ）
②入学願書	事前に指導教員と相談すること
③最終出身校の卒業証明書または、在籍証明書	卒業証明書と成績証明書が複合されているものが望ましい。
④最終出身校の成績証明書	
⑤研究計画書	様式任意
⑥業績要約書、またはこれに代わるもの（卒業研究概要等）	様式任意
⑦「上記⑥」を裏付ける資料・論文など（コピー可）	様式任意

(2) 提出期間

提出期間	受付時間	提出場所
2017年6月22日（木）	10:00～16:00	豊洲校舎 大学院・MOT 事務課

注）郵送の場合は、「修士課程出願資格審査書類在中」と朱書きし、書留郵便として上記期日までに必着のこと。

## 3. 出願資格審査日

出願資格審査日	試験会場・時間	審査結果の発表
2017年7月10日（月）	後日、郵送にて連絡	2016年7月26日（火）

※ 出願資格審査に合格した場合、出願受付日は別途お知らせします。

## 4. 審査料

審査料はいただきません。ただし、本試験においては、本学所定の検定料がかかります（ただし、社会人特別入試選抜は本試験も無料）。

## 5. 審査方法

口頭試問（面接）・研究計画書・業績要約書等に基づき審査します。

整理番号	
------	--

## 2018年度 芝浦工業大学大学院修士課程入学試験

### 出願資格審査申請書

芝浦工業大学長 殿

年 月 日

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

生年月日 (西暦) 年 月 日生

私は、貴大学大学院理工学研究科 修士課程 \_\_\_\_\_ 専攻に、学生募集要項の出願資格(8)により出願したいので下記のとおり必要書類を添えて、出願資格の審査を申請します。

#### 記

1. 提出書類等(添付した書類の数字に○をつける)
  1. 出願資格審査申請書(本紙)
  2. 入学願書
  3. 最終出身校の卒業証明書または、在籍証明書
  4. 最終出身校の成績証明書
  5. 研究計画書
  6. 業績要約書、またはこれに代わるもの(卒業研究概要等)
  7. 上記6を裏付ける資料・論文など(コピー可)

2. 連絡先 〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

# VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)  
 ※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず両名の承認印を得ること

## <電気電子情報工学専攻>部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
材料・デバイス	ナノエレクトロニクス研究	指導教員 上野和良	
	機能材料工学研究	指導教員 山口正樹	
	電子デバイス材料学研究	指導教員 堀尾重	
	光電工学研究	指導教員 本間哲哉	
	光デバイス工学研究	指導教員 横井秀樹	
回路・制御	電子回路工学研究	指導教員 石川博康	
		指導教員 小池義和 指導教員 前多和正 指導教員 佐々木昌浩 指導教員 山克己 プレマチャンドラ チンタカ	
電力・エネルギー	電磁波回路工学研究	指導教員 田中慎一	
	視環境研究	指導教員 入倉隆	
	エネルギー機器制御工学研究	指導教員 高見弘観	
		指導教員 赤津昭二 指導教員 下村真	
通 信	電力システム工学研究	指導教員 藤田吾郎	
	電力機器工学研究	指導教員 松本聡	
	エネルギー物性研究	指導教員 西川宏之	
	通信情報分類工学研究	指導教員 神澤英史	兼担
	情報通信システム工学研究	指導教員 上岡憲司	
	音響通信情報システム研究	指導教員 武藤常雄	◎
	光通信システム工学研究	指導教員 堀口博章	
情 報	通信網工学研究	指導教員 森野純子	
	無線通信システム工学研究	指導教員 行田弘一	
		指導教員 久保田周治	
		指導教員 広瀬数秀	
	計算機アーキテクチャ研究	指導教員 宇佐美典良	
	情報システム工学研究	指導教員 大倉公子	◎
	データ工学研究	指導教員 木村昌臣	
	画像情報処理研究		
情報ネットワーク研究	指導教員 平川豊		
分散システム研究	指導教員 福田浩章		
コンピュータ・メディアエータッド・コミュニケーション研究	指導教員 米村俊一		
基盤システム研究	指導教員 菅谷みどり		
実証的ソフトウェア工学研究	指導教員 中島毅		
情報科学	知能情報工学研究	指導教員 五十嵐治一 指導教員 杉本徹功	
	知能ソフトウェア工学研究	指導教員 野田夏子	
	知能システム工学研究	指導教員 安村禎明 指導教員 川口恵子	
	知識処理システム研究	指導教員 相場亮	兼担
	数理工学研究	指導教員 西村強 指導教員 松田晴英 指導教員 井戸知之	兼担
ロボティクス・メカトロニクス	ロボティクス・メカトロニクス研究	指導教員 山崎憲一	
		指導教員 島田明伸 指導教員 安藤吉忠 指導教員 長谷川大卓 指導教員 吉見聡子 指導教員 安孫子毅 指導教員 佐々木	兼担
バイオ・生体	生物電子工学研究	指導教員 六車仁志 指導教員 齋藤敦史	
	生体計測工学研究	指導教員 加納慎一郎	
	生体通信工学研究	指導教員 堀江亮太	

## VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)

※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず兩名の承認印を得ること

### <材料工学専攻>部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指導教員及び担当教員	備 考
材 料 基 礎	材 料 化 学 研 究	指導教員 野 田 和 彦 中 村 統 太	
	材 料 物 理 研 究	指導教員 荻 谷 義 治	
	極 限 材 料 科 学 研 究	指導教員 永 山 勝 久	
	薄 膜 材 料 研 究	指導教員 湯 本 敦 史	
	半 導 体 材 料 研 究	指導教員 弓 野 健 太 郎	
	ラ ン ダ ム 系 材 料 研 究	指導教員 正 木 匡 彦	
	資 源 ・ エ ネ ル ギ ー 材 料 科 学 研 究	指導教員 新 井 剛	
	材 料 科 学 研 究	指導教員 下 条 雅 幸	
	先 端 材 料 研 究	指導教員 石 崎 貴 裕	
	材 料 設 計 工 学 研 究	指導教員 芹 澤 愛	
材 料 特 性	生 体 材 料 研 究	指導教員 松 村 一 成	
	高 機 能 材 料 研 究	指導教員 村 上 雅 人	

## VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)

※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず兩名の承認印を得ること

### <応用化学専攻>部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
物 理 化 学	応 用 光 化 学 研 究	指 導 教 員 小 西 利 史	
	応 用 電 気 化 学 研 究	指 導 教 員 今 林 慎 一 郎	
	有 機 電 子 移 動 化 学 研 究	指 導 教 員 田 嶋 稔 樹	
	化 学 工 学 研 究	指 導 教 員 吉 見 靖 男	
	分 離 シ ス テ ム 工 学 研 究	指 導 教 員 野 村 幹 弘	
有 機 化 学	反 応 有 機 化 学 研 究	指 導 教 員 北 川 理	
	有 機 材 料 化 学 研 究	指 導 教 員 木 戸 脇 匡 俊	
	高 分 子 材 料 化 学 研 究	指 導 教 員 永 直 文	
	超 分 子 化 学 研 究	指 導 教 員 中 村 朝 夫	
	生 体 分 子 化 学 研 究	指 導 教 員 幡 野 明 彦	
分 析 化 学	環 境 分 析 化 学 研 究	指 導 教 員 正 留 隆	
生 物 化 学	生 命 化 学 研 究	指 導 教 員 山 下 光 雄	
	ケミカルバイオロジー研究	指 導 教 員 濱 崎 啓 太	
無 機 化 学	無 機 物 質 化 学 研 究	指 導 教 員 大 石 知 司	
	無 機 材 料 化 学 研 究	指 導 教 員 清 野 肇	
	分 子 集 合 学 研 究	指 導 教 員 堀 顕 子	

# VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)

※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず両名の承認印を得ること

## <機械工学専攻>部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
力学・材料・加工	機械材料物性工学研究	指導教員 高崎明人	兼任
	機械動力学研究	指導教員 細矢直基	
	最適システム設計研究	指導教員 長谷川浩志	兼任
	粒状体力学研究	指導教員 佐伯暢人	
	環境材料工学研究	指導教員 藤木章	
	固体力学研究	指導教員 坂上賢一	
	強度設計学研究	指導教員 橋村真治	
	材料信頼性工学研究	指導教員 宇都宮登雄	
流体・熱・エネルギー	材料加工学研究	指導教員 青木孝史朗	
	熱流体工学研究	指導教員 角田和巳	
	マイクロ熱流体工学研究	指導教員 丹下学	
	流体応用工学研究	指導教員 諏訪好英	
	熱プロセス工学研究	指導教員 君島真仁	
	エネルギー環境工学研究	指導教員 矢作裕司	
	光エネルギー工学研究	指導教員 山田純	
制御・情報・知能	エネルギー移動工学研究	指導教員 田中耕太郎	
	燃焼工学研究	指導教員 斎藤寛泰	
	流体制御工学研究	指導教員 川上幸男	兼任
	動的システム制御理論研究	指導教員 伊藤和寿	
	ロボット制御工学研究	指導教員 内村裕	
	知能機械システム研究	指導教員 松日楽信人	
人間工学・ライフサポート	高性能制御工学研究	指導教員 島田明	兼任
	宇宙探査ロボット研究	指導教員 飯塚浩二郎	
	ヒューマンファクター研究	指導教員 春日伸予	
	ヒューマンマシンインタフェース研究	指導教員 廣瀬敏也	
	福祉工学研究	指導教員 山本紳一郎	兼任
デザイン	生体機能工学研究	指導教員 山本創太	
	細胞デバイス研究	指導教員 二井信行	
	プロダクトデザイン研究	指導教員 増成和敏	
		指導教員 古屋繁	
		指導教員 吉武良治	
形状創製工学研究	指導教員 橋田規子		
金型工学研究	指導教員 梁元碩 指導教員 櫻木新		
ナノ・マイクロ	形状創製工学研究	指導教員 安齋正博	
	金型工学研究	指導教員 戸澤幸一 指導教員 澤武一	◎
	レーザー応用工学研究	指導教員 松尾繁樹	
	熱物質移動工学研究	指導教員 小野直樹	
ナノ・マイクロ	マイクロロボティクス研究	指導教員 長澤純人	
	知能材料学研究	指導教員 前田真吾	

# VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)  
 ※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず両名の承認印を得ること

## <建設工学専攻> 部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
建 築 計 画	※ 建 築 計 画 研 究	指 導 教 員 南 一 誠	
	※ 住 環 境 計 画 研 究	指 導 教 員 清 水 郁 郎	
建 築 設 計	※ 建 築 設 計 研 究	指 導 教 員 赤 堀 忍	
		指 導 教 員 西 沢 大 良	
		指 導 教 員 堀 越 英 嗣	
		指 導 教 員 郷 田 修 身	
指 導 教 員 原 田 真 宏			
※ 建 築 設 計 情 報 研 究	指 導 教 員 澤 田 英 行		
※ 建 築 計 画 情 報 研 究	指 導 教 員 菊 池 誠	◎	
※ 空 間 デ ザ イ ン 研 究	指 導 教 員 谷 口 大 造		
	指 導 教 員 前 田 英 寿		
建 築 史	※ 建 築 史 研 究	指 導 教 員 藤 澤 彰	
		指 導 教 員 伊 藤 洋 子	
建 築 環 境 設 備	建 築 ・ 地 域 シ ス テ ム 研 究	指 導 教 員 村 上 公 哉	
	建 築 環 境 工 学 研 究	指 導 教 員 西 村 直 也	
		指 導 教 員 秋 元 孝 之	
建 築 構 造	建 築 構 造 研 究	指 導 教 員 隈 澤 文 俊	
		指 導 教 員 梶 山 健 二	
	建 築 地 震 防 災 研 究	指 導 教 員 岸 田 慎 司	
	建 築 地 盤 振 動 工 学 研 究	指 導 教 員 土 方 勝 一 郎	
生 産 工 学	建 築 構 造 計 画 研 究	指 導 教 員 小 澤 雄 樹	
	材 料 施 工 研 究	指 導 教 員 濱 崎 仁	
生 産 シ ス テ ム 研 究	指 導 教 員 蟹 澤 宏 剛		
	指 導 教 員 志 手 一 哉		
社 会 基 盤 施 設	土 木 構 造 研 究	指 導 教 員 紺 野 克 昭	
		指 導 教 員 穴 見 健 吾	
	建 設 複 合 材 料 研 究	指 導 教 員 伊 代 田 岳 史	
	コ ン ク リ ー ト 構 造 研 究	指 導 教 員 勝 木 太	
地 域 ・ 環 境 計 画	地 盤 基 礎 工 学 研 究	指 導 教 員 並 河 努	
	水 工 学 研 究	指 導 教 員 宮 本 仁 志	
		指 導 教 員 三 浦 昌 生	
	都 市 環 境 工 学 研 究	指 導 教 員 安 納 住 子	
		指 導 教 員 中 川 雅 史	
	※ 環 境 基 盤 研 究	指 導 教 員 栗 島 英 明	
		指 導 教 員 中 口 毅 博	
指 導 教 員 増 田 幸 宏			
土 木 計 画 研 究	指 導 教 員 岩 倉 成 志		
	指 導 教 員 遠 藤 玲		
都 市 計 画	※ 都 市 計 画 研 究	指 導 教 員 志 村 秀 明	
		指 導 教 員 佐 藤 宏 亮	
		指 導 教 員 桑 田 仁	
		指 導 教 員 作 山 康	
	※ 都 市 デ ザ イ ン 研 究	指 導 教 員 篠 崎 道 彦	
		指 導 教 員 鈴 木 俊 治	
※ 地 域 情 報 研 究	指 導 教 員 中 村 広 幸		
※ 地 域 安 全 研 究	指 導 教 員 中 村 仁		

# VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)

※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず両名の承認印を得ること

## <システム理工学専攻>部門・研究指導・指導教員及び担当教員

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
機 械 制 御	システムデザイン研究	指導教員 長谷川 浩 志 渡 邊 大	
	先端メカトロニクス研究	指導教員 足 立 吉 隆	
	流体制御システム研究	指導教員 川 上 幸 男	
	制御システム研究	指導教員 陳 新 開	
	運転支援システム研究	指導教員 伊 東 敏 夫	
	細胞生理制御システム研究	指導教員 吉 村 建 二 郎	
	ロボティクスシステム研究	指導教員 飯 塚 浩 二 郎	
電 子 情 報	信号処理システム研究	指導教員 渡 部 英 二	
	医用超音波工学研究	指導教員 田 中 直 彦	
	情報通信デザイン研究	指導教員 間 野 一 則	兼担
	情報ネットワーク研究	指導教員 三 好 匠 裕	兼担
		指導教員 井 上 雅 裕	
	問題解決システム研究	指導教員 相 場 亮 也 鈴 木 徹 也	
	ビジュアル情報処理システム研究	指導教員 高 橋 正 信	
	宇宙観測システム研究	指導教員 吉 田 健 二 や	
		指導教員 久 保 田 あ	
	量子情報システム研究	指導教員 木 村 元	
	多様性コミュニケーション研究	指導教員 山 崎 敦 子 村 上 嘉 代 子	
	ソフトウェア工学研究	指導教員 松 浦 佐 江 子	
	Materials for Energy and Environment	指導教員 ミリアラ ムラリダ	兼担
	High-pressure Material Science Research	指導教員 山 本 文 子	兼担
Electronic Circuits and Systems Design	指導教員 ニコデムス レディアン	兼担	
社 会 ・ 環 境	社会デザイン研究	指導教員 中 井 豊 潔 江 口	
	社会数理システム研究	指導教員 武 藤 正 義	
	経済システム論研究	指導教員 小 山 友 介 谷 田 川 ル ミ	
	都市環境システム研究	指導教員 三 浦 昌 生	兼担
	環境政策研究	指導教員 中 口 毅 博	兼担
	生体制御システム研究	指導教員 渡 邊 宣 夫	
	生命創薬科学研究	指導教員 須 原 義 智 久 廣 田 佳	
	分子細胞生物学研究	指導教員 福 井 浩 二	
		指導教員 花 房 昭 彦	
	福祉支援システム研究	指導教員 山 本 紳 一 郎	
		指導教員 赤 木 亮 太	
		指導教員 岩 田 健 一	
	生体高分子学研究	指導教員 岩 田 健 一	
	食品科学研究	指導教員 越 阪 部 奈 緒 美	
環境生命科学	指導教員 布 施 博 之		
生体制御研究	指導教員 新 海 正 志 奥 田 宏	◎	
医用高分子化学研究	指導教員 中 村 朝 夫	兼担	



## VI. 修士課程 理工学研究科 教育研究分野および教員一覧

(備考欄に◎の付いている指導教員で、2018年4月1日現在在籍する場合、指導教員が指定する副指導教員を立てることによって応募できます)

※氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」。担当教員を希望する場合は、指導教員と担当教員、必ず両名の承認印を得ること

部 門	研 究 指 導	指 導 教 員 及 び 担 当 教 員	備 考
数 理 科 学	応 用 数 理 研 究	指 導 教 員 亀 子 正 喜 指 導 教 員 尾 崎 克 久 指 導 教 員 松 田 晴 英 指 導 教 員 福 田 亜 希 子 井 戸 川 知 之	兼 担
	数 理 フ ァ イ ナ ン ス 研 究		
	数 理 制 御 研 究	指 導 教 員 翟 貴 生	
	数 理 物 理 研 究	指 導 教 員 鈴 木 達 夫	
	非 線 形 解 析 研 究	指 導 教 員 竹 内 慎 吾 子 榎 本 裕 子	
	数 理 解 析 研 究	指 導 教 員 石 渡 哲 哉	
	複 素 偏 微 分 方 程 式 研 究	指 導 教 員 山 澤 浩 司	



# 提出様式集

(A 4 で印刷して下さい)



2018年度芝浦工業大学理工学研究科修士課程  
**第一次入学試験 入学願書**

※網掛け部分をすべて記入して提出すること  
 ※手書きの場合は、楷書で丁寧に記入すること。

2018年度入試受験回数 (本学学生のみ記入)	1回目 ・ 2回目以上
----------------------------	-------------

受験番号 (記入不要)	学籍番号 (本学の学部生・卒業生・研究生のみ記入) ※学部卒業後、研究生の場合は、両方の学籍番号を記入すること。
----------------	--

写 真  
 正面上半身脱帽  
 最近3カ月以内に  
 撮影のもの  
 4cm×3cm

フリガナ			
氏名	(性別： 男 ・ 女)		
英語氏名			
生年月日	西暦	年	月 日
		国籍	

現住所	〒		
※大学に登録してある住所を記入。大学入学後に転居した場合等で、住所変更手続きを行っていない場合は、至急学生課で手続きをすること。			

電話番号	自宅電話番号	携帯電話番号	メールアドレス
------	--------	--------	---------

血縁者学費等減免 (他大学卒業(見込)者 はどちらかに○のこと)	血縁者2親等以内に本学卒業生が	いない ・ いる (いる場合の本人との関係)
--	-----------------	------------------------

所属学科	学科
------	----

志望専攻	専攻
------	----

**第1希望 ↓承認印がない願書は受け付けられません。**

指導教員名 (全員記入)	指導教員承認印 (サイン可)	研究指導名 (全員記入)	研究
担当教員名 (該当者のみ記入)	担当教員承認印 (サイン可)	※「VI：教育研究分野および教員一覧」を参照し、教員に対応する研究指導名を記入すること。	
副指導教員名 (該当者のみ記入)	副指導教員承認印 (サイン可)	副指導教員の 研究指導名 (該当者のみ記入)	研究
※◎印付きの指導教員を希望する場合のみ記入			

※担当教員、副指導教員については、「教育研究分野および教員一覧」を参照してください。  
 ★担当教員：一覧表にて氏名横に「指導教員」の記載がない教員は「担当教員」です。担当教員を希望する場合、指導教員と担当教員の両名の印が必要です。  
 ★副指導教員：一覧表にて志願する指導教員に◎印がついている場合に別途指定が必要な教員です。指導教員が指定する教員を副指導教員としてください。

**第2希望 ※第一希望の教員と相談し、必要な場合は記入してください。(◎の指導教員を希望する場合は事前にご相談ください)**

指導教員名 (全員記入)	教員承認印 (サイン可)	研究指導名 (全員記入)	研究
担当教員名 (該当者のみ記入)	教員承認印 (サイン可)	※担当教員の先生を志願する場合のみ記入。	

**履歴**

学歴	西暦	年	月	高等学校卒業
	西暦	年	月	大学 学部 学科入学
	西暦	年	月	大学 学部 学科卒業・卒業見込 ※どちらかに○
	西暦	年	月	

賞罰	西暦	年	月	
	西暦	年	月	

募集要項をすべて理解し願いたします。上記のとおり相違ありません。 ↓必ず押印すること。

年	月	日	氏名：	本人印
---	---	---	-----	-----



# 受験票

2018年度芝浦工業大学大学院

## 理工学研究科修士課程 第一次入学試験

受験番号 ※記入不要	
ふりがな	
氏名	
志望専攻	専攻
(第一志望) 志望指導教員 名および研究 指導名	教員名 ----- 研究指導名
◎の指導教員 を志望する場 合の副指導教 員名	教員名 ----- 研究指導名
(第二志望) 志望指導教員 名および研究 指導名	教員名 ----- 研究指導名

キ  
リ  
ト  
リ

キ  
リ  
ト  
リ

写 真
正面上半身脱帽
最近3カ月以内に 撮影のもの
4cm×3cm

キ  
リ  
ト  
リ





# 材料工学専攻

受験番号	※記入不要	
(ふりがな) 氏 名		
専門科目	科目番号	科目名

**※科目番号・科目名は、各専攻の【試験日および試験科目・試験会場について】を参照し、正確に記入してください。**

※試験当日に、選択した科目以外の科目を解答した場合は採点されません。

※選択した科目を忘れることがないように、必ず控えておいてください。

※願書提出後、選択した科目を変更することはできません。

-----  
以下余白



# 機械工学専攻

受験番号	※記入不要	
(ふりがな) 氏 名		
専門科目①	科目番号	科目名
専門科目②	科目番号	科目名

**※科目番号・科目名は、各専攻の【試験日および試験科目・試験会場について】を参照し、正確に記入してください。**

※試験当日に、選択した科目以外の科目を解答した場合は採点されません。

※選択した科目を忘れることがないように、必ず控えておいてください。

※願書提出後、選択した科目を変更することはできません。

-----  
以下余白



# 建設工学専攻

受験番号	※記入不要		
(ふりがな) 氏名			
設計製図を選択 しない場合	専門科目①	科目番号	科目名
	専門科目②	科目番号	科目名
	専門科目③	科目番号	科目名
	専門科目④	科目番号	科目名
設計製図を選択 する場合	設計製図 どちらかに○	手書き ・ CAD	
	専門科目①	科目番号	科目名
	専門科目②	科目番号	科目名

**※科目番号・科目名は、各専攻の【試験日および試験科目・試験会場について】を参照し、正確に記入してください。**

※試験当日に、選択した科目以外の科目を解答した場合は採点されません。

※選択した科目を忘れることがないように、必ず控えておいてください。

※願書提出後、選択した科目を変更することはできません。

-----  
以下余白



# システム理工学専攻

受験番号	※記入不要	
(ふりがな) 氏 名		
専門科目①	科目番号	科目名
専門科目②	科目番号	科目名

**※科目番号・科目名は、各専攻の【試験日および試験科目・試験会場について】を参照し、正確に記入してください。**

※試験当日に、選択した科目以外の科目を解答した場合は採点されません。

※選択した科目を忘れることがないように、必ず控えておいてください。

※願書提出後、選択した科目を変更することはできません。

-----  
以下余白





受験番号
※

## 推薦書（一般入学試験）

（本学学部生以外の志願者用）

芝浦工業大学大学院理工学研究科修士課程 \_\_\_\_\_ 専攻

入学志願者 \_\_\_\_\_ を下記のとおり推薦します。

年 月 日 記載責任者 所属・職名 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

\*入学志願者の研究内容、所見および能力・性格等について記入してください。

卒業研究題目	

※記載責任者は、本人の卒業研究（論文）の指導教員とする。ただし、本人を熟知し指導的立場にある者でもよい。

※本推薦書は、推薦者の署名捺印の上厳封し、入学志願者にお渡してください。